

**【見花山かりん公園】**

「見花山」は、昔からのこの辺りの地名。昔、川和は5つの村と接していて、土地境の争論が絶えなかったことから見花山と書いて「けんかやま」と呼ばれていた。川和富士ができて、花見の場所として親しまれるようになり、見花山(みはなやま)と呼ばれるようになった。かつての「けんか山」が、この場所である。

**【川和富士公園】** (川和富士)

最初の川和富士は港北ニュータウン開発により取り壊された。「川和富士」は場所を移り、その一帯が公園となる。現在の川和富士は2代目。高さ14m、標高74m。頂上からは、富士山、ハイブリッジ、ランドマークタワーを見渡せる。

**【八幡神社】** (ハチマン)

この神社はかつて河輪神社と呼ばれていた。川和という地名もその河輪が転訛したものと言われ、河輪とは、川の曲流を意味し、この場合は、かつて八幡神社の脇を鶴見川が蛇行していた事による。今でも、このあたりの字を「河輪森」という。

**【川和の宿町】**

八王子道(日野往還)の旧道に面し、約350m及ぶ宿が続いていた。年に何回か、近郷の農家対象とし、市が開かれ各家の前庭で開かれるために、塀や垣根は無かったそうです。今は消滅。

**【瑞雲寺】** (醫王山瑞雲寺 臨済宗圓覚寺派)

貞治2(1362)年、僧梅林靈竹の開基。徳川家康がこの辺りで鷹狩の際、愛鷹が戻らないので薬師に祈念したところ、忽ち、戻ったその靈験に帰依し鷹薬師如来とし祀る。

**【妙蓮寺】** (日蓮宗)

開基は、康永3年(1344)、日蓮の孫弟子、郎慶。長禄3年(1459)日耀再興。本堂は文政5年(1793)に再建。寺の裏山は、七面山と呼ばれ、小机城の伝え城で川和城があり、城とは名ばかりの砦であった由。

**貝の坂:**佐江戸誌によると、「川和寄りの淋しい所に、夜な夜な怪しい唸り声がした。村人が掘ってみると、大きな貝が出てきたという。以後、貝の坂と呼ぶようになったという。」